

# 変革期の飲食業、 その先にある価値とは

日頃はひとかたならぬお引き立てに預かり厚く御礼申し上げます。

2026年、私たちは飲食の価値をあらためて問い合わせします。

商品や価格、話題性による競争から、「なぜこの時間を、ここで過ごすのか」という体験と意味を軸とした飲食への転換を目指します。

人材不足や物価高騰、経営者の高齢化による事業承継やM&Aの増加など、飲食業界を取り巻く環境は大きく変化しています。同時に、フードテックやDXの導入による業務効率化は、避けて通れない経営課題となりました。私たちはテクノロジーを活用し、持続可能な運営基盤を整えながら、本来向き合うべき価値創造に注力します。

銘店や老舗店、スターシェフの店が支持され続ける背景には、料理を超えた体験があります。空間、時間、所作、余韻まで含めた「その場でしか成立しない価値」こそが、これからの競争優位の源泉です。

変えてはならない哲学や美意識を大切にしながら、飲食を単なる商品提供の場から、文化を育てる場へ。食を通じて、次の時代に引き継がれる飲食文化の創造に取り組んでまいります。

2026迎春

日本フードベンチャー協会  
代表理事 前田崇行